

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（老朽ため池等整備事業）																										
地区名	川上池地区																										
事業箇所	新城市																										
事業のあらまし	<p>新城市の中央部に位置する川上池は、約 9ha の農地にかんがい用水を供給している農業用ため池である。</p> <p>本ため池は近年、堤体からの漏水が見られるなど老朽化が進行しており、緊急放水にも対応できない状況であることから、放置すれば豪雨等により決壊し下流の農地や農業用施設、公共施設等に甚大な被害を及ぼす危険性があった。</p> <p>このため、老朽化したため池を改修することにより、決壊による災害を未然に防止し、農業経営と民生の安定を図ることを目的に、平成 21 年度から老朽ため池等整備事業を実施し、平成 23 年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>老朽化したため池を改修し、決壊等による農地、農業用施設及び公共施設等の被害を未然に防止する。 （基準雨量 313 mm/日、1/100 年確率雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	1.79 億円	■工事費 1.7 億円、口用補費 億円、		■その他 0.09 億円																							
事業期間	採択年度	平成 21 年度	着工年度	平成 22 年度	完成年度	平成 23 年度																					
事業内容	ため池改修 1 か所（堤体工 69m、取水施設工 1 か所、余水吐工 1 か所）																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>施設供用後からの5年間で、最大日雨量では平成23年9月21日に224.0mm（最大1時間雨量47.5mm）を観測したが、農地や農業用施設、公共施設等の被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （新城観測所降雨データ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大日雨量</td> <td>313mm</td> <td>224.0mm</td> <td>167.0mm</td> <td>159.0mm</td> <td>156.5mm</td> <td>114.0mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間雨量）</td> <td>（77mm）</td> <td>（47.5mm）</td> <td>（42.5mm）</td> <td>（57.0mm）</td> <td>（43.5mm）</td> <td>（34.5mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大日雨量は計画基準雨量以下であるが、決壊等の被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H23	H24	H25	H26	H27	最大日雨量	313mm	224.0mm	167.0mm	159.0mm	156.5mm	114.0mm	（最大1時間雨量）	（77mm）	（47.5mm）	（42.5mm）	（57.0mm）	（43.5mm）	（34.5mm）
	区分	計画	H23	H24	H25	H26	H27																				
最大日雨量	313mm	224.0mm	167.0mm	159.0mm	156.5mm	114.0mm																					
（最大1時間雨量）	（77mm）	（47.5mm）	（42.5mm）	（57.0mm）	（43.5mm）	（34.5mm）																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>																										

Ⅲ 対応方針	
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。